



制度〈基本〉

運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

リスク許容度って何？

「リスク許容度」という言葉を知っていますか？ 運用商品を選ぶ際に最も大事なことは、「どの資産にどのように配分するか（＝資産配分割合）」を決めることです。その際の道しるべとなるのが「リスク許容度」です。



5月号で学んだように、運用のリスクとは値動きのブレ幅のことを言いますが、リスク許容度とは、収益がマイナスに振れた時に「どれぐらいのマイナス幅までなら受け入れられるのか」という度合いのことです。

リスク許容度は、いろいろな要素によって、人それぞれ異なります。自身のリスク許容度に合った資産配分と商品選びが大切です。

リスク許容度を決める要素



年齢

若いほど、運用できる期間が長くなり、損失が出てでも挽回できるだけの時間が十分あると考えられるため、リスク許容度は高くなります。

DC以外の保有資産

資産が多いほど、一般に投資に回せるお金が多く、また、損失が出たとしても、ただちに生活に支障をきたすことはないと考えられるため、リスク許容度は高くなります。

年収

安定した収入が多いほど、一般に投資に回せるお金が多く、また、損失が出たとしても、ただちに生活に支障をきたすことはないと考えられるため、リスク許容度は高くなります。

資産運用の知識や経験

運用の知識や経験が豊富なほど、自分が投資した商品の値動きに対して理解があると考えられるため、リスク許容度は高くなります。

リスクに対する感じ方

リスクに対する感じ方は人それぞれです。他の要素ではリスク許容度が高くても、資産の減少に抵抗感があり、リスクに慎重な考え方の場合、リスク許容度は低くなる傾向があります。

自身のリスク許容度を診断してみよう！

加入者サイトの「すぐわかる・よくわかるチャンネル」内の「シミュレーション」のページに、「DC資産運用クリニック※」をご用意しています。「資産運用クリニック」では、8つの質問に答えていただくと、ご自身のリスク許容度を診断し、適度な資産配分を例示いたします。企業型の方は、「スタートツール」のページにある「投資の手引き」でもリスク許容度診断ができます。ぜひご利用下さい。 ※https://www.resonabank.co.jp/specialty_dcrobo/



“リそにゃ”とまなぼ！は
毎月発行しています。

バックナンバーはこちら
からご覧いただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/oshiete/>

2023年6月発行

リそな銀行 信託年金営業部
DC運営管理グループ

〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。